

平成17年8月25日

JH日本道路公団

横浜工事事務所

横浜環状南線
横浜市南部地域猛禽類調査検討会の中間とりまとめ(その6)

横浜市南部地域において、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種に位置付けられているオオタカの生息に関する情報提供があり、日本道路公団横浜工事事務所では、平成12年2月からオオタカに関する調査を行うとともに、同年8月に「横浜市南部地域猛禽類調査検討会（委員長：柴田敏隆 神奈川県自然保護協会副理事長）」を設置しオオタカの生息に関する調査・検討を行ってまいりました。

この度、平成17年8月18日に「第10回横浜市南部地域猛禽類調査検討会」を開催したことと、平成17年の調査結果を含めた中間とりまとめについてお知らせします。

お問い合わせ先

日本道路公団 横浜工事事務所

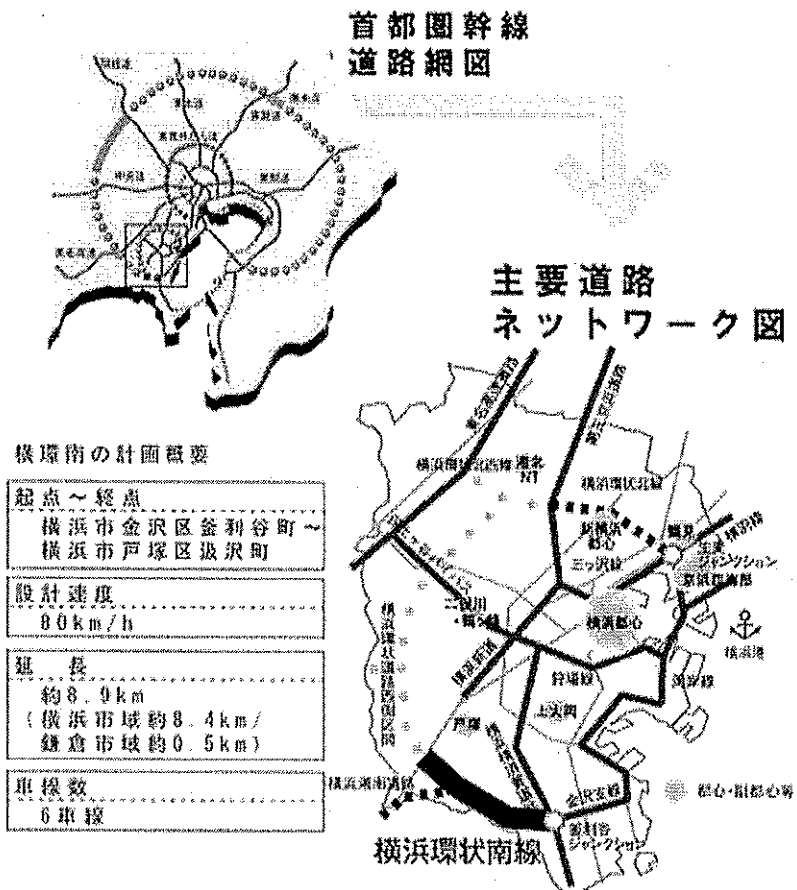
工務課長 沖 田 竜 司

電話 045-352-3771（代表）

1. 事業概要

横浜環状南線（以下「横環南」）は「首都圏中央連絡自動車道」の一部をなすとともに、神奈川県や横浜市の総合計画などにおいても重要な道路として位置付けられています。

また、横環南は横浜の都心部から半径約10～15kmに位置し、横浜市郊外の各区の相互連絡を容易にし、市の一体化を図るとともに、横浜中心市街地の交通混雑の緩和を図ること等を目的に計画された「横浜環状道路」の一部をなす重要な自動車専用道路です。



横浜市南部地域猛禽類調査中間とりまとめ（その6）の概要

平成17年 8月

横浜市南部地域猛禽類調査検討会

1. 検討会の概要

(1) 概 要

神奈川県より横浜市南部地域におけるオオタカの生息に関する情報提供があり、事業者として、今後の横環南の本格的な工事に向けより慎重を期すために、平成12年2月から調査を開始しました。

また、平成12年8月に「横浜市南部地域猛禽類調査検討会（委員長：柴田敏隆 神奈川県自然保護協会副理事長）」を設置して生息・繁殖状況調査等の調査の結果を踏まえ、保全対策について検討を行っています。

表 1-1 検討会名簿（平成17年8月現在）

	氏 名	所 属
委員長	柴田敏隆	（特非）神奈川県自然保護協会副理事長
委 員	柳澤紀夫	（財）日本鳥類保護連盟理事
	川手隆生	神奈川野生生物研究会事務局長
	大寺伸幸	国土交通省横浜国道事務所所長
	八木茂樹	日本道路公団横浜工事事務所所長

(2) 検討内容

第10回検討会を平成17年8月18日に開催し、以下の検討を行いました。

- ・ 平成17年の生息・繁殖状況調査等の結果について

2. 平成17年の生息・繁殖状況調査結果

(1) 現地調査の期間

表 2-1 調査の項目と期間

調査項目	調査期間	備考
生息状況調査	3・5・7月	2日間／月
繁殖状況調査	4～7月	

(2) 生息状況調査

横浜市南部地域の現地調査で各月ともオオタカの飛翔を確認しました。

(3) 繁殖状況調査

今年は、新たな箇所で営巣が確認され、既知の巣と併せて、合計2箇所の営巣が確認されました。

繁殖状況は、既知の巣については、昨年と同じ営巣地で、巣造り・抱卵・孵化が確認されましたが、孵化後間もなく、親鳥（オス）が巣に戻らなくなったことにより、餌の供給が不十分になり、巣立ちには至りませんでした。

また、新たな箇所においても、巣への出入りは確認されましたが、巣立ちには至りませんでした。

3. まとめ

昨年と同じ営巣地において親鳥（オス）が巣に戻らなくなった要因としては、一般に事故等による死亡が考えられます。また、今年は、新たな箇所で営巣が確認されていることから、個体間における競合等が要因となっている可能性があります。

なお、営巣期間中の工事においては、工程に配慮（保全対策）していること、また、工事完了後、既知の巣において、巣造り・抱卵・孵化を確認していることから、工事がオオタカの生息（繁殖）に与えた影響はないものと考えられます。（参考資料－１）

今後も、道路と自然環境との調和に十分配慮した取り組みを進めるとともに、必要な調査及びこれまで検討してきた保全対策を実施していきます。

※オオタカの飛翔状況・営巣地等に関する情報の公表は、巣の位置が限定され、密猟のほか、カメラマン、観察者等多数の人々が営巣地の近辺に出入りを繰返し、オオタカの繁殖を阻害する恐れがあるため差し控えさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いします

以 上

参考資料－１

１．工事において実施した保全対策の概要

釜利谷ジャンクション内での工事用道路等工事において、これまでに実施した保全対策の概要は下記のとおりです。

工 事 名	期間 (工期)	工事位置	実施した保全対策	繁殖状況
釜利谷北整備工事	H15. 3. 25 ～ H16. 2. 17	釜利谷ジャンクションに隣接する緑地部	・低騒音・低振動型機械を採用 ・営巣期間中については施工方法・工程に配慮	平成 15 年： 営巣地 1 箇所 巣立ち 3 羽
				平成 16 年： 営巣地 1 箇所 巣立ち 3 羽
鉄塔基礎補強工事	H16. 11. 10 ～ H17. 2. 23.	釜利谷ジャンクションに隣接する緑地部	・低騒音・低振動型機械を採用 ・営巣期間中については施工方法・工程に配慮	平成 17 年： 営巣地 2 箇所

２．中間とりまとめ

これまでの検討内容について、５回中間とりまとめとして公表を行っており、ＪＨ横浜工事事務所ホームページ <http://www.jhnet.go.jp/tokyo/yokohama/> にて、ご覧になることが出来ます。